リハビリテーション総合実施計画書

									計画部	¥価実施日	: 年	月	H
患者氏名:		男·女	生年月日(西暦))	年	月	日(歳)	利き手	右・右(矯	新正) · :	左
主治医	リハ担当医		PT		ОТ		ST		看護		SW等		
診断名、障害名(発症日、手術日、診断日): 合併症(コントロール状態): リハビリテーション歴:													
日常生活自立度: J1、J2、A1、A2、B1、B2、C1、C2 認知症高齢						者の日常	生活自	立度判定	基準: I	, Ⅱa, Ⅱb, I	Ша, Шb, IV,	M	
評価項目・内容 (コロン()の後ろに具体的内容を記入)						短期	期目標	(ケ	月後)	具	体的アプロ	ーチ	
□意識障害(JCS、GCS):													

日存	常生活自立度:	J1, J2	, A1, A	2, B1, l	32、C1、C2 認知症高齢者の)日常生活自立度判定基準:	I , Ⅱa, Ⅱb, Ⅲa, Ⅲb, Ⅳ, M
				の後ろに	二具体的内容を記入)	短期目標(ヶ月後)	具体的アプローチ
心身機能・構造	基 おきしがり /	系: 系(構音、 限:	失語)	邓介助 [□全介助): □全介助)·		
	本 座位(動 対ちとがり)	(□自立	. □—‡	部介助 [□全介助):		
					□全介助):		
	活動度 (安静度		Z-(V)I	生田、花	動時のリスクについて)		
	ADL (B. I.)	自立	一部 介助	全介助	使用用具(杖、装具)、介助内容	短期目標	具体的アプローチ
	食事	10	5	0			
移乗 15 10	移乗	15	10 ←	-監視下			
	座れるが移れない→		5	0			
	整容	5	0	0			
	5	0					
活動	入浴	5	0	0			
動	平地歩行	15 10←歩		-歩行器等 歩行:			
	車椅子操作が可能 →		→ 5	0	車椅子:		
	階段	10	5	0			
	更衣	10	5	0			
	排便管理	10	5	0			
	排尿管理	10	5	0			
	合計(0~100点))		点			
	コミュニケーション	理解					
		表出					

	評価	短期目標		具体的アプローチ		
	職業(□無職、□病欠中、□休職中、	退院先(□自宅、□親族宅、□]医療機関、			
	□発症後退職、□退職予定) □発症後退職、□退職予定)	_ · · _	(
	職種・業種・仕事内谷:	□復職へ可、□その他)			
参加	経済状況:	復職時期:				
<i>≫</i> 77H						
	任会参加(內容、頻度等):					
	余暇活動(内容、頻度等):	社会活動:				
	b E # / \	趣味:	1)			
	栄養補給方法(複数選択可):	一年至1747 收至(日本	NS)			
	□経口(□食事、□補助食品)	栄養補給方法(複数選択可):				
			<u> </u>			
学	□無、□有(学会分類コード:)		'y)			
(,,,	□過栄養、□その他()	その他:				
	 【「問題なし」以外に該当した場合、以下も記入】					
	必要栄養量: ()kcal、たんぱく質()g					
	#2 入院直後等で不明な場合は総提供栄養量でも可					
	抑うつ:					
心理	障害の否認:					
## A	その他:					
	同居家族:	自宅改造				
	如一种目目	□不要、□要:				
	税(灰)(大)					
□発症後退職、□退職予定) 職種・業種・仕事内容:						
>K 2L			年金			
	☆/王/円/四・					
	交通手段:					
	<u>忙</u> 云:生活: 	1				
	健康上の問題の発生:					
	心理的問題の怒生・		親族宅、□医療機関、 □転職、□配置転換、□その他) kcal kg 選択可): □補助食品) 梢、□中心) 様、□障害年金 と			
	心脏的风感必先生。	1				
		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •				
1ヵ月	後の目標:	本人の希望:				
		家族の希望:				
ll » L	ジリテーションの沙皮士針・		从心部心事实			
)/ \C	- ノノ - マコママパロバボノリ业 ・	ع ا	/ 177日刊788年日	쁴.		
退院	時の目標と見込み時期 :	L				
退院	後のリハビリテーション計画 (種類・頻度・期間):					

							_
本人・家族への説明:	年	月	日	 説明を受けた人:本人、家族() !	署名:	

説明者署名:

(リハビリテーション実施計画書及びリハビリテーション総合実施計画書記入上の注意)

退院後の社会参加の見込み:

- 1. 日常生活自立度の欄については、「「障害老人の日常生活自立度(寝たきり度)判定基準」の活用について」(平成3年1 1月18日 老健第102-2号)厚生省大臣官房老人保健福祉部長通知によるランクJ1, J2, A1, A2, B1, B2, C1又はC2 に該当するものであること。
- 2. 認知症高齢者の日常生活自立度判定基準の欄については、「「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」の活用について」(平成5年 10 月 26 日 老健第 135 号)厚生省老人保健福祉局長通知によるランク I , II a, II b, III a, III b, IV 又は M に該当するものであること。
- 3. 活動の欄におけるADLの評価に関しては、Barthel Index に代えてFIMを用いてもよい。
- ※ 回復期リハビリテーション病棟入院料1を算定する場合は、「栄養」欄に必ず記入のこと(シート上段に管理栄養士の氏名も記入)